

## 第43回運営委員会議事録

日時：2017年3月11日（土）午後2時～午後3時50分

場所：青山学院大学経営学部グローバル・ビジネス研究所内セミナールーム（8号館6階）

出席者：駒木文保（東京大学）、竹村彰通（滋賀大学）、狩野裕（大阪大学）、田村義保（総合研究大学院大学）、福井武弘（青山学院大学）、西郷浩（早稲田大学）、宿久洋（同志社大学）、渡辺美智子（慶応義塾大学）、川崎茂（日本大学）、美添泰人（青山学院大学）

書記：藤森裕美（青山学院大学）、保科架風（青山学院大学）

委任：今泉忠（多摩大学）、山口和範（立教大学）、舟岡史雄（日本統計協会）、岩崎学（成蹊大学）

### 資料

資料0. 第41回運営委員会議事録（案）、第42回運営委員会議事録（案）

資料1. 運営委員会・検討課題メモ

資料2. 統計教育連携ネットワーク（拡大版JINSE）関連

資料2-1. 統計教育連携ネットワーク（拡大版JINSE）規約

資料2-2. JINSE 版統計検定運用規程

資料2-3. 拡大版JINSE 運営委員会規程（案）

資料2-4. 拡大版JINSE 会員関係書式

資料2-5. 拡大版JINSE 関連メール式

資料3. 事業評価委員会・外部評価委員会議事録

### 参考資料

参考-1. 各連携大学の活動（年度末報告書抜粋）

参考-2. 各委員委員会の活動（年度末報告書抜粋）

参考-3. 2017年2月17日「JINSE 成果報告シンポジウム」（年度末報告書抜粋）

参考-4. 2017年2月28日「大学間連携共同教育推進事業選定取組全国シンポジウム in 金沢」（年度末報告書抜粋）

参考-5. 2017年3月5日「日本統計学会春季集会」企画セッション（年度末報告書抜粋）

参考-6. 拡大版JINSE 加入依頼（学長宛）

参考-7. JINSE 監修『現代統計学』（監修者への献本）

### 議題

0. 第41回、第42回運営委員会議事録を資料0に沿って確認し、若干の修正の上で承認された。

1. 拡大版JINSE への移行

資料1に沿って、本事業の後継事業である拡大版JINSE への移行について確認・議論が行われた。また、今後の対応として青山学院大学における状況が報告された。

- 美添委員が経営学部招聘教授に着任
- 文科省向け報告書類作成のために4月から6月にかけて現状施設のうちの2部屋以上が提供される見込み

#### 1.1 統計教育連携ネットワーク（拡大版 JINSE）規約の確認

- 資料1に沿って拡大版 JINSE の準備状況について確認が行われ、問合せには統計教育連携センターと美添委員が対応することとした。
- 資料2-1に沿って統計教育連携ネットワーク規約の検討が行われ、以下の点が確認された。
  - － 1つの大学で3つ以上の会員が準組織会員として登録した場合は、各会員から準組織会員の年会費を徴収する。
  - － 全学共通科目を管轄する部署の場合、組織会員としての参加が望ましい。
  - － 基本的には会員の運営しやすいように対応する。
  - － 「JINSE 会員申込書」（資料2-4）の「誓約書」の文言を削除する。
  - － 「JINSE 会員種別変更願い」（資料2-4）の「法人名」を「会員名」に変更する。
  - － 申込書類については、今後も必要に応じて整備する。
- 滋賀大学を拡大版 JINSE の幹事校とすることが承認された。
- 連携会員（これまで JINSE の活動に関わり、退職された非常勤身分の教員が対象）制度を新設し、会費を5000円とする案が提示された。なお、連携会員の条件として JINSE 版統計検定を実施しないことを明記する。連携会員については、今後、規約の改正に反映する。
- 資料1に沿って、拡大版 JINSE 連携学会・連携団体との協定についての現状が美添委員から報告された。
- 会費に関する見積り、請求書、領収書などの確実な発行が必要との指摘に対応することとした。

#### 1.2 JINSE 版統計検定運用規程の確認

資料2-2に沿って、以下の通り、JINSE 版統計検定運用規程の確認が行われた。

- これまでの連携大学向け統計検定と比較して、支払および試験結果の提供に関して、運営に混乱が生じる危険があるとの指摘があり、確実に対応することとした。
- 全学共通科目を管轄する部署が準組織会員として参加した場合、関連科目を受講する学生全員に JINSE 版統計検定の受験資格を与える。
- 個人会員関係学生への JINSE 版統計検定の受験資格として、「検定実施日以前の学期に開講されていた個人会員担当科目に履修登録していた学生」とする。
- 統計数理研究所が組織会員となる場合は、総研大大学院に所属する学生等および統数研の特別共同利用研究員に対して JINSE 版統計検定の受験資格を認めることが確認された。
- 学生の受験料を学部が負担することを決定した青山学院大学経済学部に対しては、JINSE 版統計検定を実施しない場合は、一般会場団体受験での受験を求める。

#### 1.3 拡大版 JINSE 運営委員会・準備委員会について

資料1、資料2-3に沿って拡大版 JINSE 準備委員会について報告が行われ、美添準備委員会副委員長が退任することとなった。代わりに、滋賀大学が幹事校となることに伴い、竹村委員が拡大版 JINSE 準備委員会（4月以降は運営委員会）副委員長に着任することとなった。

資料 2-3 に沿って拡大版 JINSE 運営委員会規則について検討が行われ、連携団体は運営委員会で意見の表明をすることができる旨の条項を追加することとなった。

#### 1.4 今年度内の移行作業

宿久委員より、資料 2-5 に沿って北海道大学より北大クラウドの利用について統計連携センターとの契約は難しいとの反応があった旨の報告があった。これに関連し、これまでと同じく拡大版 JINSE が同志社大学に委託して北大クラウドの契約を行うという代替案が承認された。本件については 2017 年 3 月中に統計教育連携センターと同志社大学で対応する。

### 2. 大学関連携で作成した資産の移管

資料 1 に沿って、本事業の後継事業である拡大版 JINSE への本事業資産の移管について確認が行われ、可能な限り手続きが簡素になるように対応することとなった。

### 3. 報告事項

#### 3.1 各連携大学の活動

参考資料 1 に沿って連携大学の各担当者から活動の報告が行われた。

#### 3.2 各委員会の活動

参考資料 2 に沿って各委員会の担当者から活動の報告が行われた。

#### 3.3 事業評価委員会・外部評価委員会

資料 3 に沿って 3 月 8 日に開催された事業評価委員会、外部評価委員会について報告が行われた。

#### 3.4 JINSE 成果報告シンポジウム報告

参考資料 3 に沿って 2017 年 2 月 17 日に開催された「JINSE 成果報告シンポジウム」について報告が行われた。

#### 3.5 大学間連携共同教育推進事業選定取組全国シンポジウム in 金沢報告

参考資料 4 に沿って 2017 年 2 月 28 日に開催された「大学間連携共同教育推進事業選定取組全国シンポジウム in 金沢報告」について報告が行われた。

#### 3.6 日本統計学会春季集会 企画セッション報告

参考資料 5 に沿って 2017 年 2 月 28 日に開催された「日本統計学会春季集会企画セッション」について報告が行われた。

### 4. 庶務事項

#### 4.1 今後の予定

本事業の終了にあたって、これまでに作成してきた教材を使いやすい形で残すために、年度末を目標にウェブの改良を実施することとした。

また、4 月からは、現在の運営委員全員が、拡大版 JINSE の運営委員として、活動を継続することとなった。

### 5. その他

日本評論社から JINSE 監修「現代統計学」が刊行され、運営委員宛てに献本があった。なお、「現代統計学」等のシリーズ化について歓迎する旨の発言があったことが報告された。

以上